DAILY SPORTS デイリー

男子 第55回
女子 第54回
西日本学生バスケット
本社主催

創部3年目

愛媛女短大が圧勝

第3日（24日、大阪府立体育会館ほか）

男子3回戦、女子2回戦が行われた。女子2回戦では愛媛女短大が126—29で京都外大に圧勝した。昨年、創部2年目で全日本学生四国大会を制覇した実力を見せつけた。25日は男子4回戦が大阪府立体育会館で、女子3回戦が大阪市中央体育館で行われ、男女ともベスト16が決まる。

フレッシュ四国女王が爆発
雪辱に向け好発進

四国女王が初戦を突破した。第1Qで31—4とし、早々と勝負を決めてしまうと、残り時間は登録18人が全員出場。短大の宿命である経験不足をカバーするため、積極的に1年生を起用した。フレッシュな力が爆発し、100点差近い大差をつける快勝だった。

「誰が出場してもあまり力は変わらない」。宮本監督が話すようにスター選手はいないが、どこからでも点を取れるのが強み。平均身長162・3㌢と高さはないが、豊富な練習量に支えられた走力が大きな武器だ。

創部は2年前。部員8人からスタートした。初年度は選手が足りず、ゲーム形式の練習すらできなかった。昨春、新入生12人が入部してから快進撃が始まる。四国大会をあっさり制覇し、インカレに出場した。

▽女子2回戦

	1	2	3	4	計
愛媛女短大	37	28	30	31	126
京都外大	6	6	13	4	29

相手DFをかわしシュートを放つ愛媛女短大・神山（左）＝大阪市中央体育館（撮影・神子素慎一）

「どうしても鹿屋と戦いたい」とは主将のF沢岷。インカレで64—85で敗れている鹿屋体大への雪辱が目標だ。2年間という限られた期間でのモチベーションは限りなく高い。（奥村哲明）

「今年こそ8強」

＜女子・福岡大▽神戸親和女大を下して初戦を突破した。九州学生連盟委員長を2年間務めている松藤（4年）は今回メンバー登録を外れてスコア記録などサポート役に回っている。「出たい気持ちもあったけど、今回は裏方に徹します。毎年16強止まりなので、今年こそはベスト8に進んでほしい」。選手全員が「心強い」と松藤の存在を頼りにしている。

【男子】3回戦

金沢工大	139—38	東和大	
鹿屋体大	75—62	信州大	
関商大	103—80	同志社大	
大体大	108—63	流通科学大	
中部学院大	83—69	名古屋経大	
金沢大	91—56	びわこ成蹊スポーツ大	
龍谷大	80—75	富士常葉大	
神戸大	91—67	愛媛大	
島根大	80—75	熊本学園大	
関大	85—77	新潟工短大	
浜松大	117—50	新潟経営大	
愛知大	86—78	福岡教大	
大経大	73—59	広島大	
愛知工大	96—86	比治山大	
大阪経法大	100—62	愛知学院大	
福岡大	82—73	桃山学院大	
京都教大	122—64	名古屋学院大	
阪南大	103—77	広島工大	
立命大	72—56	関西学院大	
徳山大	125—63	関西外大	
久留米大	69—65	大院大	
関西外大	95—69	吉備国際大	
大院大	107—39	福川崎医療社大	

【女子】2回戦

関学大	93—71	近畿大	
西南女学院大	106—51	岡山県大	
広島文教女大	80—53	第一経大	
九州女大	94—78	京都教大	
徳山大	63—55	同志社女大	
関西外大	103—60	広島経大	
広島大	101—40	佐賀女短大	
愛知大	103—39	大谷大	
福岡大	87—52	神戸親和女大	
新潟経営大	95—35	桃山学院大	
長野経短大	75—57	佛教大	
滋賀女短大	115—35	岡山大	
島根大	100—57	金沢大	
園田学園女大	66—59	久留米工大	
倉敷芸術科学大	73—45	奈良教大	
びわこ成蹊スポーツ大	61—57	中京女大	
奈良文化短大	69—61	大阪国際大	
立命大	75—62	中京大	
女子中部学院大	97—76	関大	

ピストンズ先勝

NBAプレーオフ
PLAYOFFS
東カンファレンス決勝＜23日＞

昨季のNBA王者、ピストンズがマイアミで90—81でヒートを破り、敵地で先勝した。ヒートは今季プレーオフ9試合目で初黒星。ピストンズはR・ウォーレスの20点を筆頭に、先発5人全員が2けた得点。看板の強力な守備で、今プレーオフ1試合平均106・5得点のヒートを80点台に抑え込み、快勝した。

第2戦は25日にマイアミで行われる。

①マイアミ
ピストンズ 90—81 ヒート

数字はシード順、
ヌキ数字は勝利数

【西カンファレンス】
■④サンズ①
■ グリズリーズ⑧
■④マーベリックス④
■③ロケッツ⑤
■④スパーズ②
■❶ナゲッツ⑦
■④Sソニックス③
■❶キングズ⑥